



つぶれたりしたねじは、どうやって回すの^{まわ}

ペンチではさんで回す^{まわ}

なが^{なが} あいだ^{あいだ} てい^{てい}長い間、手入れをしなかったドアのちょうつがいなどは、ねじがさびてしまって、かんたん^{かんたん}にとれませんね。ドライバーを使って、無理やりねじを回そうとすると、最後^{さいご}には、ねじ山^{やま}がつぶれてしまって、どうしようもなくなることがあります。つぶれたねじ山^{やま}は、かいふく^{かいふく}させることができません。この場合^{ばあい}、ペンチでねじをはさみ、ペンチを回しながら、しんちょう^{しんちょう}にぬき取るしかほうほう^{ほうほう}はありません。

さびたねじなどをぬき取るときは、さいしょ^{さいしょ}にねじの部分^{ぶぶん}にきかいあぶら^{きかいあぶら}をさし、あぶら^{あぶら}がしみこむまで、しばらく待ちます。油^{あぶら}がしみこんだら、ねじ山^{やま}にドライバーを強くおしつけながら、回すようにします。このとき、ねじ山^{やま}をこわさないように、さいしん^{さいしん} ちゅうい^{ちゅうい} ひつよう^{ひつよう}が必要です。

また、ドライバーを選ぶときは、ねじの頭^{あたま}に、ぴったりはまるものを選ぶようにします。

ねじを回すための、いろいろな道具^{まわ どうぐ}

ねじを回すには、ふつう、ドライバーを使います。ドライバーは、かなものてん^{かなものてん}、ホームセンター、スーパーなどで手に入れることができます。ドライバーセットになっているものを買うといいでしょう。しかし、ドライバーが、ねじ山のサイズにぴったりはまらなかったら、合うものを買いたすようにしましょう。

そのほかの道具^{どうぐ}として、ボルトやナットを回すためのモンキースパナや、ろっかく^{ろっかく}六角ねじのための六角レンチ、水道のねじをしめるためのウオーターポンププライヤーなどがあります。

(監修・田代 脩)

